学校番号	1203

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	器楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器の奏法を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・いろいろな楽器に触れ、それぞれの演奏の仕方を知り、自分の個性を表現する能力を育てます。

2　学習の到達目標

　器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
・楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（知識） ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表している。（技能）	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・様々な表現形態の特徴に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	ギターのさまざまな奏法を学び、曲の雰囲気に合った表現を工夫し	Stand By Me	a:(知)曲想と音楽の構造との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 a:（技）創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:ギターでコードやベースライン、メロディーの各ポジションを覚えたり、弾き語りをしたりすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート
	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	夏は来りぬ	a:(知)曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:（技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート

2学期	作曲当時の社会背景を理解して、ギターの表現を工夫しよう	Blackbird	a:(知曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりによって生み出される表現上の効果、曲想と器楽の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:タブ譜の読み方を理解して、ギターで弾き語りをすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート
	各パートの役割を理解してリコーダーアンサンブルを楽しもう	ソナチネ	a:(知曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート

	各パートの役割を理解して、バンド演奏を楽しも	ばらの花	a:(知)曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:バンド演奏ならではの表現上の効果を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート
3学期	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	自由に選曲した楽曲	a:(知)曲想と楽器の音色や奏法との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の意図表現をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度